

特集展示

刀剣ことはじめ

刀剣ワールド財団と九博の名刀

国宝・重要文化財にまなぶ刀剣入門

国宝

《太刀 銘来国光》
鎌倉時代 14世紀
九州国立博物館所蔵

撮影OK!

本展の展示作品は
すべて撮影可能です。

押形制作:石井彰
画像提供:刀剣博物館

令和2年(2020)

1月1日[水・祝]—2月24日[月・休]
4階文化交流展示室(第9室)

主催:九州国立博物館・福岡県、刀剣ワールド財団(東建コーポレーション)



太宰府天満宮横

九州国立博物館

福岡県太宰府市石坂4-7-2 www.kyuhaku.jp
NTTハローダイヤル 050-5542-8600 (午前8時~午後10時/年中無休)

なるほど
刀剣入門 1

拓本で刀剣を記録?
超絶技巧の記録法「押形」



押形



写真

写真の無かった時代、刀剣を記録する方法として押形がありました。これは、立体物に紙を押しあて、固形の墨を用いて形を紙に写し取る、拓本的一种です。しかし刀剣の場合、外形は写せても、凹凸が一切無い模様である刃文は写し取ることができません。そのため、刃文については墨の濃淡を用いてその特徴を描き写すことになります。極めて高度な技能が要求される、刀剣独特の記録方法です。

「太刀と刀は何が違う？」 「銘？無銘？伝？」「名物って何？」 そんな数々の疑問にお答えします。

空前の刀剣ブーム。その流れは平成から令和の御代となった今もなお続いています。しかしその人気の一方で、とかく「難しい」「近寄りがたい」と思われがちな刀剣の世界。今回の展示では、国内有数の刀剣コレクションを所有する刀剣ワールド財団の全面的なご協力を頂きながら、「九州初お目見え」となる名刀の数々を、近年当館の所蔵となった代表的な刀剣とともにご紹介いたします。それぞれの作品の見どころや来歴などをご紹介するだけでなく、刀剣を取りまく独特な用語についても、分かりやすく解説いたします。しかも、全作品撮影OK！美しく輝き、見る者をひきつけてやまない刀剣の世界。その奥深い魅力を是非お楽しみください。

なるほど 2 刀剣入門

重要
美術品



《太刀 銘一》(表) 鎌倉時代 13世紀 刀剣ワールド財団所蔵



《刀 銘九州肥後同田貫上野介》(表) 安土桃山時代 16～17世紀 九州国立博物館所蔵(王貞治氏寄贈)

太刀と刀のちがいは何？

刀剣展示のヒミツ

刀剣には様々な種類があります。なかでも、形がよく似ているために違いが分かりにくいのが、太刀と刀でしょう。太刀は、刃を下にして左腰に吊すものです。一方、刀は刃を上にして左腰の帯に差します。この違いは、博物館の展示方法にもあらわれています。刀剣を身につけた人の姿を真横から見た状態で茎と呼ばれる持ち手を左側、鋭い鋒を右側にして、太刀は刃を下に、刀は刃を上にして展示するのが基本です。

◆関連イベント

刀剣を見て触れて体感してみよう！

プログラム

「刀剣を手にとってみよう」(刀匠 小宮治氣氏)

「刀剣の輝きを実感してみよう」(研師 小宮光敏氏)

「ペーパーナイフ作り体験」

「刀装具の象嵌体験」 など(予定)

と き／2020年1月19日(日)・2月9日(日)

ところ／1階研修室

イベントの詳細とお申し込みは九博公式ホームページ www.kyuhaku.jp をご覧ください。

◆ミュージアムトーク

と き／2020年1月11日(土)午後6時～6時30分

ところ／4階文化交流展示室 第9室

講 師／望月規史(当館研究員)

参加費／無料(文化交流展の観覧料が必要です)

なるほど 3 刀剣入門

美しさを
生み出すヒミツ
地鉄、刃文、沸・匂

刀剣の鑑賞は、難しいと言われることがあります。それは、地鉄や刃文、沸・匂といった、独特な言葉を用いて表現されるためです。とすれば、刀剣はどれも同じように見えてしまいがちですが、ごく簡単な見どころを踏まえておくだけでも、鑑賞上の大きな手がかりとなります。

【沸・匂】

刃文を生み出す細かな粒。粒子が大きなものを沸、小さなものを匂と呼ぶ。

《刀 無銘則房》(部分拡大図)
鎌倉時代 13世紀
九州国立博物館所蔵

国宝

【地鉄(板目肌)】

鉄を折り返し、さらに研ぎ上げることで出てくる木目のような模様。

【刃文】

地鉄と刃の境目に生じる白っぽい模様。

なるほど 4 刀剣入門

サビてるじゃないか…
でも、そこにこそ
重要な情報が！

刀剣には光り輝く刀身とは対照的に、焦げ茶色の錆に覆われた部分があります。ここが、持ち手の柄に収められる茎です。この部分には刀工の名前や制作年などが刻まれています。また、どの茎にも刀身が柄から飛び出すのを防ぐための目釘を通す孔が原則1個あけられています。しかし、刀身の寸法を短くしたり、外装を作り替えたりするために茎の先から切り詰めると、もとの茎のかたちが残らず、銘まで無くなってしまうものもあり、この際には孔の数が増えます。古い刀剣が無銘となったり、孔が複数あいているものが多いのは、このためです。

重要
文化財

An Introduction to Swords

Touken World Foundation and Kyushu National Museum

◎開館時間／午前9時30分～午後5時、毎週金・土曜日は午後8時まで夜間開館。

入館は、閉館の30分前まで。

◎休館日／毎週月曜日(ただし1月13日(月・祝)、2月24日(月・休)は開館、1月14日(火)は休館)

◎観覧料／一般430円(220円)、大学生130円(70円)* *学生証等の提示をお願いします。

高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は無料

※()内は、団体料金(有料の方が20名以上の場合)。※令和2年1月1日(水・祝)～5日(日)の期間は特別展「三国志」、2月4日(火)～24日(月・休)の期間は特別展「フランス絵画の精華」の半券でもご覧いただけます。※障害者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料です。展示室入口にて障害者手帳等(詳細についてはHP等をご確認ください)をご提示ください。※高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は、展示室入口にて生年月日がわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※キャンパスメンバーズの方は無料でご覧いただけます。展示室入口にて学生証、教職員証等をご提示ください。



交通アクセス

■公共交通機関 [西鉄電車]西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約16分/急行約18分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で西鉄太宰府駅下車、徒歩約10分※特急/急行料金不要 [JR] JR博多駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用[西鉄バス]博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩約10分 ■車[九州自動車道]太宰府ICまたは筑紫野ICから高雄交差点経由で約20分 【福岡都市高速】水城出口から高雄交差点経由で約20分 【タクシー利用】JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分